

宮城県での高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内 17 例目） に伴う野鳥緊急調査の結果について

令和 4 年 3 月 29 日（火）

<宮城県同時発表>

宮城県石巻市における高病原性鳥インフルエンザの発生（家きん国内 17 例目）を受けて、宮城県において令和 4 年 3 月 26 日（土）から 28 日（月）までの 3 日間、環境省において 25 日（金）及び 28 日（月）の 2 日間、野鳥監視重点区域内における現地の野鳥の生息状況などの調査を実施したところ、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

1. 調査期間

宮城県：令和 4 年 3 月 26 日（土）～28 日（月）の 3 日間

環境省：令和 4 年 3 月 25 日（金）及び 28 日（月）の 2 日間

2. 調査結果

宮城県石巻市における高病原性鳥インフルエンザの発生（家きん国内 17 例目）を受けて指定した野鳥監視重点区域内で、渡り鳥の飛来地において宮城県 8 か所、環境省 10 か所で、生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施した結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

（参考）野鳥緊急調査で観察された鳥類

宮城県調査

検査優先種	種数	種類
検査優先種 1	2 種	ヒドリガモ、キンクロハジロ
検査優先種 2	2 種	オナガガモ、スズガモ
検査優先種 3	7 種	カルガモ、シノリガモ、コクガン、ウミアイサ、オオバン、ウミネコ、トビ
合計	11 種	

環境省調査

検査優先種	種数	種類
検査優先種 1	3 種	ヒドリガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ
検査優先種 2	1 種	スズガモ
検査優先種 3	11 種	カルガモ、シノリガモ、コクガン、ウミアイサ、ハジロカイツブリ、カワウ、オオバン、ウミネコ、オオセグロカモメ、カモメ、トビ
合計	15 種	

※ 検査優先種：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定しているものです（参考情報参照）。

3. 今後の対応

野鳥監視重点区域において、引き続き野鳥の監視を継続します。

【参考情報】

環境省ホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html)

「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html)

環境省自然環境局野生生物課

鳥獣保護管理室

代 表 03-3581-3351

直 通 03-5521-8285

室 長 東岡 礼治 (内線 6470)

係 長 庄司 亜香音 (内線 6473)

担 当 宮澤 結有 (内線 6477)